

# 神奈川県腎臓病療養指導士の会 2025年度活動報告



# 2025年度当番世話人

太刀川美保（新百合ヶ丘総合病院 看護師）

愛甲美穂（湘南鎌倉病院 看護師）

黒田貴子（横浜みなと赤十字病院 管理栄養士）

稲垣和幸（横浜総合病院 薬剤師）

樋口愛（川崎市立多摩病院 看護師）

# 2025年度コアメンバー

コアメン バー	職種	所属施設
東山恵	看護師	聖マリアンナ医科大学病院
鈴木泰貴	看護師	横浜市立大学病院
早川しずか	看護師	北里大学病院
稲垣和幸	薬剤師	横浜総合病院
太刀川美保	看護師	新百合ヶ丘総合病院
柴田みち	管理栄養士	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
高橋雅子	看護師	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
黒田貴子	管理栄養士	横浜市立みなと赤十字病院
鈴木太	管理栄養士	東海大学医学部附属病院
坂根絢子	看護師	東海大学医学部附属病院
樋口愛	看護師	川崎市立多摩病院
萩原百合子	看護師	横浜じんせい病院
伊東崇仁	薬剤師	日本鋼管病院
不破朝子	看護師	藤沢市民病院

コアメン バー	職種	所属施設
長島真弓	看護師	済生会横浜東部病院
橋谷田恵子	看護師	森下記念病院
栗原雅代	薬剤師	横須賀共済病院
宇野洋司	管理栄養士	横浜市立大学附属市民総合医療センター
愛甲美穂	看護師	湘南鎌倉総合病院
児玉亜子	薬剤師	日本医科大学武蔵小杉病院
苗村裕美	看護師	日本医科大学武蔵小杉病院
野口文乃	看護師	北里大学病院
櫻井彩	薬剤師	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
菅祥江	看護師	虎ノ門病院分院
小畑美貴子	看護師	帝京大学医学部附属溝口病院
田中結美	看護師	関東労災病院
藤田麻理	看護師	小田原市立病院
新戸裕美子	薬剤師	川崎市立川崎病院
實方由美子	看護師	平塚共済病院

# 神奈川県腎臓病療養指導士の会

## 92名の会員が在籍

腎臓病療養指導 2635名  
神奈川県内 208名  
2025年4月時点

森下記念病院  
北里大学病院  
小田原市立病院  
東海大学医学部附属病院  
藤沢市民病院  
湘南鎌倉病院  
平塚共済病院  
横須賀共済病院

聖マリアンナ医科大学病院  
新百合ヶ丘総合病院  
日本銅管病院  
帝京溝口病院

関東労災病院  
日本医科大学武蔵小杉病院  
川崎市立多摩病院  
川崎市立川崎病院  
虎ノ門病院分院



横浜市立みなと赤十字病院  
横浜じんせい病院  
横浜総合病院  
横浜市立大学附属市民総合医療センター  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院  
済生会横浜東部病院  
横浜市立大学附属病院

コアメンバー在籍施設  
**24施設**  
2025年6月

# 2025年度の活動内容

- 5月31日 第108回神奈川腎研究会 口演
- 7月 神奈川腎研究会ホームページへの掲載
- 9月13日 第19回CKDチーム医療研究会 口演
- 9月27-28日 腎臓学会東部学術大会 口演
- 8月24日 第8回腎不全チーム医療協議会（Kicos）学術大会 口演
- 11月1日 会則制定
- 11月8日 第2回神奈川県腎臓病療養指導士の会 口演
- 11月29-30日 第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会 口演
- 2026年1月 日本腎臓病協会機関誌「& Jin」対談 執筆
- 2026年3月7日 Cardio-Renal Alliance Forum 口演予定
- 2026年4月11日 かわやくセミナー 口演予定

# 第108回 神奈川腎研究会総会・研究集会

2025年5月31日

神奈川県総合医療会館 7階ホール

## 第108回神奈川腎研究会 総会・研究集会

日 時：2025年5月31日(土) 12:30～  
会 場：神奈川県総合医療会館 7階ホール  
横浜市中区富士見町3-1  
TEL:045-241-7000

当番世話人：櫻田 勉 (聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科)  
丸井 祐二 (碑文谷病院)

参加費 2,000円 (医師/企業関係者)  
年会費 無料 (研修医/メディカルスタッフ)  
年会費 3,000円 (医師/企業関係者)  
年会費 無料 (研修医/メディカルスタッフ)

### 神奈川腎研究会

会 長 田村 功一 事務局長 小林 竜

事務局：横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学  
住 所：〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9  
TEL：045-787-2633

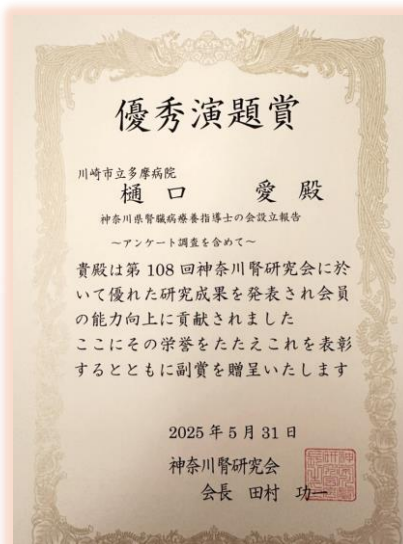
メールアドレス：kanajin@yokohama-cu.ac.jp  
URL：http://kanagawajin-kenkyukai.com

## 神奈川県腎臓病療養指導士の会設立報告～アンケート調査を含めて～ 川崎市立多摩病院 樋口 愛



神奈川県腎臓病療養指導士の会の設立からの活動と共に、コアメンバーに実施した「慢性腎臓病透析予防指導管理加算」の算定状況に関するアンケート調査結果の報告を発表

優秀演題賞を頂きました！





# 第8回 腎不全チーム医療協議会学術大会

**Kicos** Kidney dysfunction team medical coordinator's council

**第8回 腎不全チーム医療協議会学術大会**

参加費：2,000円

**慢性腎臓病透析予防指導管理料算定  
あなたの施設はどうしていますか？  
～チームで慢性腎臓病透析予防に挑む！～**

**開催日 2025年8月24日（日）**  
13:00～16:10 web開催  
当番会長 仲宮 優子（東京都立大久保病院）

**【特別講演】**  
豊田 麻理子先生（熊本赤十字病院 腎臓内科部長 腎センター長）  
慢性腎臓病透析予防指導管理料について

**【一般演題】**  
各職種から慢性腎臓病透析予防指導管理料に関する  
多職種協働患者支援の工夫点・困難点など  
・腎臓内科医師 ・外来担当看護師 ・管理栄養士  
・レシピエント移植コーディネーター

**参加登録を開始しました！**  
Kicos ホームページ (<http://www.kicos.jp>)  
または右記のQRコードからお申し込みください。

**\*日本腎不全看護学会 慢性腎臓病療養指導看護師  
認定ポイント（3ポイント認定）**

Kicos

【問い合わせ先】 Kicos（腎不全チーム医療協議会） Email: 2018kicos@gmail.com

**第8回 Kicos学術大会**

**プログラム** 2025年8月24日（日）

13:00-13:05 **開会のあいさつ** 東京都立大久保病院 仲宮 優子

13:05-14:25 **一般演題**（発表10分質疑応答5分） 全体情報共有 15分  
座長 JCHO仙台病院 看護部 副看護部長 伊藤 智恵子

演題1 【看護師】 聖マリアンナ医科大学病院 看護部 樋口 愛  
演題2 【医師】 JA長野厚生連 佐久医療センター 腎臓内科医長 大沢 祐介  
演題3 【管理栄養士】 京都桂病院 栄養科長 池田 美美  
演題4 【KRTC】 北里大学病院 看護部 移植医療支援室 井村 夕姫  
\*KRTC: 腎移植に関わるレシピエント移植コーディネーター

14:25-15:35 **特別講演** 座長 東京都立大久保病院 仲宮 優子  
慢性腎臓病透析予防指導管理料について  
熊本赤十字病院 腎臓内科部長 腎センター長  
豊田 麻理子 先生

15:35-16:05 **あなたの施設はどうしていますか？**  
投票機能を用いたアンケートで皆さんの施設の現状や悩み、工夫などを共有して  
あなたの明日にいかしましょう！  
司会進行 三思会 慢性腎臓病総合医療センター 副センター長 野口 文乃  
奈良県立医科大学附属病院 看護部 副看護部長 河野 恵

16:05-16:10 **閉会のあいさつ** 次回大会長 JCHO仙台病院 看護部 副看護部長 伊藤 智恵子

**\*アンケートにご協力ください。**  
大会終了後のzoom画面にアンケートのQRコードが出ます。  
大会運営向上のため感想やご意見をお聞かせください。

【問い合わせ先】 Kicos（腎不全チーム医療協議会） Email: 2018kicos@gmail.com

第8回 Kicos学術大会 2025.8.24

神奈川県腎臓病療養指導士の会  
事務局の野口文乃さんも参加されているレシピエント移植コーディネーターが中心となって運営されているKicosの会の学術大会でWebでの開催でした。

神奈川県腎臓病療養指導士の会設立  
神奈川県内に所属する慢性腎臓病患者の透析予防と治療の向上を図ることを目的として、2023年10月に設立された。県内各地の慢性腎臓病患者の透析予防と治療の向上を図ることを目的として、2023年10月に設立された。県内各地の慢性腎臓病患者の透析予防と治療の向上を図ることを目的として、2023年10月に設立された。

第8回 Kicos学術大会  
神奈川県腎臓病療養指導士の会 / 聖マリアンナ医科大学病院  
樋口 愛先生

神奈川県腎臓病療養指導士の会  
慢性腎臓病透析予防指導管理料算定に関するアンケート  
調査報告

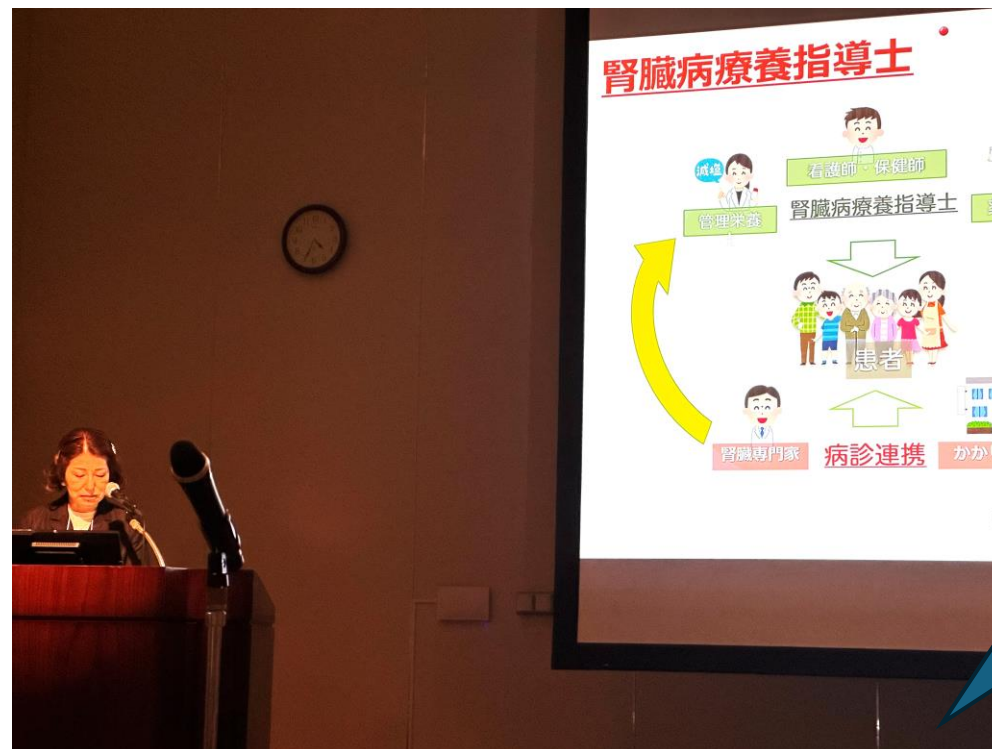
川崎市立多摩病院（聖マリアンナ医科大学病院） 樋口 愛

# 第18回 日本CKDチーム医療研究会

2025年9月13日・14日

砂防会館 別館 シェーンバッハ・サボー

神奈川県腎臓病療養指導士の会設立報告  
～アンケート調査を含めて～  
新百合ヶ丘総合病院 太刀川 美保



日本CKDチーム医療研究会へは、昨年度に続いて2回目の発表となりました。



# 第55回 日本腎臓学会東部学術大会

2025年9月27日・28日 パシフィコ横浜ノース

腎臓病療養指導士企画

各地域でのCKD診療における他職種連携の促進と活性化のための  
腎臓病療養指導士をはじめとした様々な職種の活動

看護師の立場から

湘南鎌倉総合病院 看護師 愛甲美穂



CKDEの活動に関連して、神奈川県  
腎臓病療養指導士の会の活動、湘南  
鎌倉病院での愛甲さんの力強い活動  
の発表がありました。



# 第2回 神奈川県腎臓病療養指導士の会

2025年11月8日（土）川崎市コンベンションホール会議室1・2  
現地 + Webのハイブリッド開催

**ハイブリッド開催**  
2025. **11.8** (土) 14:00~16:05

**会場** 川崎市コンベンションホール「会議室1+2」  
川崎市中区小杉町2丁目276番地1 パークシティ武蔵小杉  
ザガーデンタワーズイースト2階 TEL: 044-455-6340

**オンライン視聴** [https://boehringer.zoom.us/join/register/WN\\_v15vjJRFQGYl06J66Dz7aQ](https://boehringer.zoom.us/join/register/WN_v15vjJRFQGYl06J66Dz7aQ)  
イベント番号: 936 6568 9438 パスワード: 538140

**第2回 神奈川県 腎臓病療養指導士の会**

**開会の辞** 14:00~14:05 櫻田 勉 先生 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 教授

**一般講演** 14:05~15:05 (各15min)

**座長** 樋口 愛 先生 太刀川 美保 先生  
川崎市立多摩病院 腎センター 三成会 新百合ヶ丘総合病院 看護部

**演者** 太刀川 美保 先生 三成会 新百合ヶ丘総合病院 看護部  
**慢性腎臓病透析予防指導管理料算定のアンケート調査結果**  
黒田 貴子 先生 横浜市立みなと赤十字病院 栄養課 課長  
**腎臓病療養指導における現状と課題**  
稲垣 和幸 先生 横浜総合病院 薬剤部 係長  
**薬剤師の立場からみたCKD療養支援の可能性**  
愛甲 美穂 先生 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター 看護部  
**腎臓病療養指導における私たちの取り組み**

**特別講演** 15:05~16:05 (各30min)

**座長** 櫻田 勉 先生 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 教授

**演者** 土井 悦子 先生 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 栄養部 部長  
**施設の垣根を超えたCKDEチーム結成と地域特性に配慮したCKD重症化予防の取り組み**  
要 伸也 先生 吉祥寺あさひ病院 副院長 / 杏林大学医学部 客員教授  
**今後の腎臓病療養指導士に期待すること**

講演会の情報をソーシャルメディア等に投稿することはご遠慮ください。  
ご入力いただきました個人情報、本講演会の目的にのみ使用いたします。

主催：日本ペーリンカーイングリハム株式会社  
後援：神奈川県／神奈川県薬剤師会／神奈川県栄養士会／神奈川県看護協会



現地参加33名  
Web参加29名  
合計62名



# 第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会

2025年11月29日・30日 神戸国際会議場



神奈川県腎臓病療養指導士の会設立  
新百合ヶ丘総合病院 太刀川 美保

～アンケート調査を含めて～

発表後、他県が多職種連携  
に悩む看護師の方より相談  
を受けました。



# 日本腎臓病協会機関誌 & Jin 1月 掲載

横浜みなと赤十字病院 管理栄養士 黒田 貴子

第2回神奈川県  
腎臓病療養指導  
士の会でご講演  
頂いた土井悦子  
先生との管理栄  
養士対談が実現



右：土井悦子さん（虎ノ門病院）  
左：黒田貴子さん（横浜みなと赤十字病院）

## 療養指導最前線 インタビュー 腎臓病療養指導士の資格を日常診療に活かしている医療者にフォーカス

### CKDE取得で「点」から「線」へ 深化した多職種連携と地域連携

黒田 貴子 氏（管理栄養士） 横浜市立みなと赤十字病院 栄養課 栄養医員  
CKDE / NST 専門療法士

取材：土井 悦子（管理栄養士） 国家公務員共済組合連合会の門病院 栄養部/CKDE



#### 腎臓病制度を活用した外来栄養食事指導

横浜市立みなと赤十字病院は、横浜市中心部を支える医療の中枢拠点として政治家から災害救済まで扱う急性期病院です。当院の腎臓内科は医師6名体制にて、内科的腎疾患の早期から進行した段階まで総合的に診療しています（2024年度患者数：入院432人、外来7,444人）。基本的に紹介患者さんが中心で、ステージの低い腎機能が安定している方はクリニックに紹介し、ステージG4以上の患者さんを中心に病院で療養するという連携体制を構築しています。血液透析、腹膜透析のアクセス作成・管理のほか、3年前から生体腎移植を開始しました。腎代替療法定義外来があるのも特徴の1つです。

腎臓内科の外来栄養指導は月に約60件、半分がステージG4、G5で、約7割が男性、半数が70代以上です。ステージが進行した患者さんなど、食事療法の難易度が高い患者さんは経験豊富な管理栄養士が担当するなど、個々の状態に応じた対応を行っています。

#### ▼図1 登録医に合わせた外来栄養食事指導の案内

##### 外来栄養食事指導の流れ

- ※図1は腎臓病専門医の診療科目に合わせた案内です
- ① 診察情報提供書（栄養指導依頼書）を FAX または電話  
※図2は図1の図1、図2、図3を併用
- ② 当院栄養士が患者さんに連絡をとり、指導予約日時決定
- ③ 栄養指導実施後、報告書を先生方に FAX 送信
- 1 回目  
・経路の食事内容調整 ・腎臓病の気づき  
・行動目標設定（生活の質を落とさず改善）
- 2 回目  
・理解度、目標達成度の評価
- 3 回目  
・長期にわたる、実践していくことが可能か確認

横浜市立みなと赤十字病院	
住所	神奈川県横浜市中区山下3-12-1
開院	2005年
病床数	624床（一般584床、特等40床）
診療科	36科
透析科	透析科の床数：6床 血液透析導入患者数：36人/年 腹膜透析導入患者数：8人/年（2024年度）

#### 「地域の患者さんにも栄養指導を展開」

当院は、登録医制度を導入しており（医科76件、歯科133件、2025年10月20日現在）、依頼に応じて、地域のクリニックの患者さんにも外来栄養食事指導を実施しています。登録医の先生から「診察情報提供書（栄養指導依頼書）」が届いたら、当院管理栄養士が患者さんに連絡を取り、予約日時を決定します。初診のみ専門医の診察を受けていただき、栄養食事指導を実施後、クリニックに報告書を送る、という流れで、登録医の先生が簡単に利用できます（図1）。管理栄養士を雇用できないクリニックの課題に克服するもので、月に数件ではありますが、大変な取り組みであると考えています。

#### 管理栄養士という「点」から多職種の「線」へ

当院にCKDEは4名在籍しています（看護師2名、薬剤師2名、管理栄養士1名）。私がCKDEを取得したのは、腎臓内科部長からの勧めがきっかけです。

腎臓チーム立ち上げ当初、看護師より「患者さんから食事に関する相談を受けることが多い」と声を聞き、本格的に指導介入する体制を整えました。腎臓内科の栄養指導をメインで担当するようになり、資格取得によってCKDに関する基礎知識や多職種との関わり、服薬管理まで学べることは、大きな強みになると考えました。

腎保護を目的に少しでも食事療法を理解・習得していただき、「日々の前の患者さんを笑顔にしたい」という思いはずっと変わりませんが、取得後は、管理栄養士という「点」ではなく、多職種の「線」で患者さんを支えるという視点が持てるようになりました。意識増進、情報共有の垣根を超えたつながりの重要性を強く意識するようになったこともメリットの1つです。

#### 生活背景に合わせたオーダーメイド指導

主にステージG4、G5の患者さんを担当し、多い日は3、4人を指導することもあります。指導ツールは、一般的な既存の資料に加え、院内で作成した資料（パンスよく食べる目安や、カリウム

制限への対応、写真付きの媒体など）を活用しています（図2）。低たんぱく指導用の食物大フードモデルは、患者さんが視覚的に理解でき、非常に役立っています。

指導で最も重要視しているのは、患者さん一人ひとりの生活背景と料理スキルに合わせた対応です。マニュアル化した指導ではなく、個人の生活スタイルに合わせて資料を作成したり、話し方を変えたりもしています。

継続指導では離脱しないよう、良い点を褒めてやることも心がけています。検査データやむくみの程度などを数値化・可視化して示し、小さな変化でも見逃さず努力を認めるようにしています。モチベーションの維持につながっているようで、患者さんの中にはコントロールが良好であっても、「継続をお願いしたい」と10年以上指導を受けに来る患者さんもおられます。

印象に残った患者さんに、89歳でステージG5、eGFR15未満、糖尿病合併という重症の患者さんがいらっしゃいます。ご本人の病歴は長く、甘い物や塩辛い物が好きなお方、奥様は多くの情報を得て見られている状況でした。指導以外でも看護師からの相談があれば面談室に出向くなど、ご本人と奥様にも寄り添い3年間で3回の指導を重ねました。結果的にeGFRや血圧、カリウム値の増進が低下・上昇を防ぎつつ、92歳で通院指導となりましたが、心づかいがしっかりとできており、最後は「この外来に来られなくなるのが寂しい」と笑顔で帰られるなど、良好な関係性が築けた事例でした。

#### ▼図2 指導に使用している資料の例



#### カンファレンスと病院食の試食で連携を深める

栄養指導室は、腎臓内科の診察室と看護士の面談室の間にあり、電子カルテの端末も置かれているため、とても連携しやすい環境です。当日の検査データから、急遽、指導依頼があることも多々あり、食事に関する諸事事にタイムリーに介入しています。

7年前からは腎臓チームが発足し、毎月、多職種カンファレンスが開催されています。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、MSW、事務職員（腎臓内科受付含む）が参加し、困り症例の共有をするほか、低たんぱく食などの病院食を試食してもらう場を設けたこともあります。医師をはじめ職員からは「減塩食でもちゃんと味を感じるね」「低たんぱくご飯を初めて食べました」との声も聞かれ、理解を深める良い機会になったとの評価をいただきました。

#### 時間を増やし、地域に広がるCKD啓発へ

神奈川県腎臓病療養指導士の会は2年前に発足したまだ新しい組織で、現在、本格的な活動に向けて準備を進めている段階です。コアメンバーとして参加し、今年度は世話人として他施設の看護師さんや薬剤師さんと情報共有できる機会も増えました。外部のCKDEとの交流を通して、他院でのタブレットを用いた説明媒体などの取り組みを知り、自院でもわかりやすい媒体の作成・見直しを行うなど、他施設・他職種の知見や関わり方を良い機会となっています。

神奈川県CKDEによる管理栄養士はまだ約20%と少ないため、今後更に時間を増やし、他施設の垣根を超えた横のつながりや行政との連携、職種横断的な関係性を強化したいと思っています。地域での啓発活動の取り組みも注力したいことです。CKDステージがかなり進行してから病院に送られるケースがあり、患者さんから「もっと早く話が聞きたかったです」と言われることも少なくありません。CKDの啓発活動、早期発見・重症化予防のため、まずは自施設において、登録医の先生に向けたセミナーや地域住民の腎臓病教室などに積極的に関わっていきたくと考えています。今後も、多職種が手を組んで、外に与えてCKDEとして活躍する場が増えることを期待しています。



聞き手の土井氏（右）と

取材日 2025年11月6日